

# 支援活動報告



発表の様子

グループワークをしている  
マラちゃん（左端の女の子）

## チャイルド ストーリー

## 初めて、子どもの日のお祝い会をしました！

ラオスでは、毎年6月1日が子どもの日の祝日です。今年は地域住民と協力し、2つの村で初めて子どもの日のお祝い会を実施しました。125人の子どもたちと37人の保護者が参加し、歌を歌ったり、子どもの権利や、地域活動への子どもの参加について学んだりしました。

このお祝い会に参加し、グループワークでリーダーを務めた小学3年生のマラちゃんが感想を話してくれました。

「今日は、ワールド・ビジョンのスタッフから子どもの権利について教えてもらいました。また、歌を歌ったり、ゲームをしたり、友だちとグループワークをしたり楽しい時間を過ごしました。

グループワークでは、私たちが住む地域や学校で必要なものと、地域や学校を良くするためのアイデアについて絵を描いて、発表しました。グループワークの発表では優勝することができ、嬉しかったです。

大人たちと一緒に子どもの権利について考えたのは初めてでしたが、とても楽しかったです。このような機会を作ってくれてありがとうございました」

このお祝い会を通し、子どもの権利について学んだ保護者や地域住民は、子どもたちの安全を守るために遊び場を作ったり、地域の活動に子どもの参加を促したりするようになりました。

支援を通し、地域全体が子どもたちのことを考えられるようになるなど、少しずつ変化しています。



保護者が作った遊び場で遊ぶ子どもたち



## 少数民族が多い地域を対象に

## 子どもたちが小学校を卒業できるように支援を行いました

### 教育 96%の子どもたちが、小学校を卒業できました！

ラオスでは、特に少数民族が多い地方における、小学校修了率の低さが課題としてあげられます。今年度は、子どもたちが無事小学校を卒業することを目標に、主に3つの活動を行いました。結果、ワールド・ビジョンが支援する小学校で、96%の子どもが小学校を卒業することができました。

1つ目は、5つの読書クラブに本を提供し、教員には読書室の管理方法の研修などを行いました。計1,696人の生徒が読書クラブの活動に参加し、読み書き能力の向上に役立っています。ラオス語が母語ではない多くの生徒にとって、読書クラブは授業で学んだラオス語を定着させる良い機会になっています。

2つ目は、1つの小学校の改築工事への支援です。この学校には95人の生徒が在籍していましたが、校舎は

非常に粗末な建物で、雨の日は水溜まりができていました。また、床が平らではなかったため、机やイスも傾き、勉強に集中できない子どもが多くいました。新しい校舎は、1年生から5年生が使用する5つの教室にコンクリート造りの床と木材の柱、トタン屋根をつけて建設しました。子どもたちは完成した新しい教室を見て、飛び跳ねて喜びました。新しい校舎のおかげで子どもたちの学習意欲が上がり、小学校の卒業率が上昇しました。

3つ目は、村落教育委員会への研修です。10校の小学校にいる合計56人の村落教育委員会メンバーに対し、郡教育局と協力して、学校運営における計画の策定と実施、振り返りの仕方などの研修を行いました。参加者の内44人が、研修で習得したスキルから計画策定を行い、学校の学習環境がより整備されました。



改築された校舎の前で、綺麗になった校舎に喜ぶ子どもたち



村落教育委員会の会合の様子



小学校の読書コーナーで小学4年生の生徒がラオス語の勉強をしています



生計向上

## 新種を使った稲作農業や、家庭菜園、ヤギの支援を通し 地域の家庭の食生活に変化が生まれています

95%の家庭で、十分な食料が得られるようになりました！



ヤギの飼育に関する研修の様子を郡の副知事（左から4番目の男性）が視察しました

昨年度に引き続き、今年度も新種を使った稲作、家畜飼育、家庭菜園などの支援を行いました。ワールド・ビジョンの支援が始まる前は、日々の食料も十分に手に入らないことが多くありましたが、今年度終了時の調査で、95%の家庭で十分な食料が手に入れられるようになったことが分かりました。現在では、771世帯で1日に2食以上の食事をとることができています。

新種を使った稲作農業に関する研修を、20世帯を対象に行いました。稲の提供と技術研修を行い、より生産高が上がるよう技術を磨きました。米の収穫後は一部の種もみを保存し、次年度の活動でより多くの家庭を対象に研修を実施する計画です。

家庭菜園は、特に貧困家庭と学校を対象に活動を行いました。40世帯に対し、白菜、玉ねぎ、長ネギ、パセリ、チリ、ナス、キュウリ、にんにく、トマト、空心菜などの種を提供し、郡の農業局のスタッフが肥料の作り方や扱い方、収穫方法などの栽培技術に関する研修を行いました。この活動により、収穫が安定するようになりました。

家畜支援では、貧困家庭にヤギを提供し、飼育や繁殖方法について研修を行いました。これまでの3年間の活動を通し、172世帯がこの活動に参加しています。今年も提供したヤギから39頭の子ヤギが生まれ、活動が拡大しています。



学校菜園の様子 農作物の育て方や収穫方法などを学んでいます



新種の苗の提供と技術研修を受けた地域住民

## 子どもたちを再び学校に通わせられるようになりました！

「以前は、農業に関する知識がなかったので、安定的に収入を得られませんでした。そのため、子どもたちの学費を支払えず、2人の子どもは、学校を辞めざるを得ませんでした」と、話すのは3人の子どもがいる父親のキポーさんです。

キポーさんは安定的な収入を得、子どもたちが再び学校に通えるように、農業技術に関する研修に参加し、地域の資源を使った肥料の作り方や、野菜の種の支援を受けました。

「研修を受けたおかげで、さまざまな野菜が採れるようになりました。特にスイカはうまく作れるようになり、市場で売ることができました。来年はさらに畑を広げたいと思っています。安定して収入が得られるようになったので、子どもたちを学校に通わせられるようになり、とても嬉しいです。皆さまからのご支援に感謝しています」



畑で採れたスイカを持つキポーさん（左端）と家族

### 現地責任者からのご挨拶



パランサイ郡の事業責任者  
スタサ・ポウサディ

2016年のラオス政府の方針により、チャイルドとの手紙の交流等ができなくなりましたが、ラオスの子どもたちに皆さまからの継続的なご支援をいただき、心から感謝いたします。ご支援により、教育と生計向上の分野で、最も弱い立場にいる子どもたちや人々のために活動することができました。

タパントン郡、パランサイ郡では、6つの小学校に浄水システムを導入し、毎日535人の子どもたちの衛生環境を維持することができました。子どもたちは手洗いや歯みがきの方法などを学んでいます。また、3つのコンクリートダム建設も進み、339世帯2,354人が乾季でも水資源に困ることがなくなりました。2015年から続いているヤギの提供により、安定的に家庭の収入を得られるようになり、子どもたちの授業料を支払えるようになりました。子どもたちの栄養状態も改善に向かっています。

一方、特に5歳未満の子どもたちの栄養不良や、農業に関する知識不足など特に栄養改善や生計向上の分野において多くの課題が残っています。このような課題を抱えている子どもたちや地域の人々のために、今後も活動していきたいと思っております。地域を代表し、皆さまからの温かいご支援に感謝いたします。

2018年度(2017年10月1日～2018年9月30日)

ラオス サバナケット県タパントン郡・パランサイ郡での活動への支援額：31,137,692円

温かいご支援に心より感謝申し上げます。



ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて開発援助・緊急人道支援・アドボカシー(市民社会や政府への働きかけ)を行う国際NGOです。

### お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
TEL: 03-5334-5351 (平日 9:30-17:00)  
e-mail: dservice@worldvision.or.jp  
ホームページ: www.worldvision.jp